

まず、次の問題を通じて前回(8月号)の復習から。

例題 1. $\sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1}$ を求めよ。

$$(x^2 e^x)' = (x^2 + 2x)e^x$$

から、 $\{n^2 \cdot 2^{n-1}\}$ の“階差数列”と“和の数列”は $n^2 \cdot 2^{n-1}$ に近い形と予想できる!

ここで、 $S = \sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1}$ としたら、

$$\begin{aligned} S &= 1 \cdot 1 + 2 \cdot 2 + 3 \cdot 2^2 + \dots + n \cdot 2^{n-1} \\ -2S &= 1 \cdot 2 + 2 \cdot 2^2 + \dots + (n-1)2^{n-1} + n \cdot 2^n \\ -S &= 1 \cdot 1 + 1 \cdot 2 + 1 \cdot 2^2 + \dots + 1 \cdot 2^{n-1} - n \cdot 2^n \\ &= \frac{2^n - 1}{2 - 1} - n \cdot 2^n \\ &= -(n-1)2^n - 1 \end{aligned}$$

$$\therefore S = \sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} = (n-1)2^n + 1$$

である。これを既知として、様々な解法を紹介する。

解 1 $[S - 2S$ で $\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1}$ を作る]

$$S = \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} \text{ として、}$$

$$\begin{aligned} S &= 1 \cdot 1 + 4 \cdot 2 + 9 \cdot 2^2 + \dots + n^2 \cdot 2^{n-1} \\ -2S &= 1 \cdot 2 + 4 \cdot 2^2 + \dots + (n-1)^2 2^{n-1} + n^2 \cdot 2^n \\ -S &= 1 \cdot 1 + 3 \cdot 2 + 5 \cdot 2^2 + \dots + (2n-1)2^{n-1} - n^2 \cdot 2^n \\ &= \sum_{k=1}^n (2k-1) \cdot 2^{k-1} - n^2 \cdot 2^n \\ &= 2 \sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} - \sum_{k=1}^n 2^{k-1} - n^2 \cdot 2^n \\ &= 2\{(n-1)2^n + 1\} - \frac{2^n - 1}{2 - 1} - n^2 \cdot 2^n \\ &= -(n^2 - 2n + 3) \cdot 2^n + 3 \end{aligned}$$

$$\therefore S = \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} = (n^2 - 2n + 3)2^n - 3$$

である。

注 下線部は、 $\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} = (n-1)2^n + 1$ を使うために展開したが、通常は、展開せずに、そのまま上の $\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1}$ と同様にして求める(下線部を T とおいて、 $T - 2T$ から計算する)。

解 2 [微分を利用]

$$\sum_{k=1}^n x^k = \frac{x^{n+1} - x}{x - 1} \quad (x \neq 1)$$

の両辺を x で微分すると、

$$\begin{aligned} \left(\sum_{k=1}^n x^k\right)' &= \sum_{k=1}^n k \cdot x^{k-1}, \\ \left(\frac{x^{n+1} - x}{x - 1}\right)' &= \frac{\{(n+1)x^n - 1\}(x-1) - (x^{n+1} - x)}{(x-1)^2} \\ &= \frac{nx^{n+1} - (n+1)x^n + 1}{(x-1)^2} \end{aligned}$$

$$\therefore \sum_{k=1}^n k \cdot x^{k-1} = \frac{nx^{n+1} - (n+1)x^n + 1}{(x-1)^2}$$

となる。この両辺に x をかけて、

$$\sum_{k=1}^n k \cdot x^k = \frac{nx^{n+2} - (n+1)x^{n+1} + x}{(x-1)^2}$$

である。さらに、両辺を x で微分すると、

$$\begin{aligned} \left(\sum_{k=1}^n k \cdot x^k\right)' &= \sum_{k=1}^n k^2 \cdot x^{k-1}, \\ \left(\frac{nx^{n+2} - (n+1)x^{n+1} + x}{(x-1)^2}\right)' &= \frac{1}{(x-1)^3} \times \{(nx^{n+2} - (n+1)x^{n+1} + x)(x-1)^2 \\ &\quad - (nx^{n+2} - (n+1)x^{n+1} + x) \cdot 2(x-1)\} \\ &= \frac{n(n+2)x^{n+1} - (n+1)^2 x^n + 1}{(x-1)^2} \\ &\quad - 2 \cdot \frac{nx^{n+2} - (n+1)x^{n+1} + x}{(x-1)^3} \end{aligned}$$

$$\therefore \sum_{k=1}^n k^2 \cdot x^{k-1} = \frac{n(n+2)x^{n+1} - (n+1)^2 x^n + 1}{(x-1)^2} - 2 \cdot \frac{nx^{n+2} - (n+1)x^{n+1} + x}{(x-1)^3}$$

となり、 $x=2$ を代入すると、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} &= n(n+2)2^{n+1} - (n+1)^2 2^n + 1 \\ &\quad - 2\{n \cdot 2^{n+2} - (n+1)2^{n+1} + 2\} \\ &= (n^2 - 2n + 3)2^n - 3 \end{aligned}$$

である。

解 3 [差に分けて打ち消す(階差数列)]

数列 $\{n^2 \cdot 2^{n-1}\}$ において、

$$\begin{aligned} (k+1)2^k - k^2 \cdot 2^{k-1} &= \{2(k+1)^2 - k^2\}2^{k-1} \\ &= (k^2 + 4k + 2)2^{k-1} \end{aligned}$$

である。 $1 \leq k \leq n$ として、両辺の和を計算すると、

集中講義～和と戯れる ②～

$$\begin{aligned} (\text{左辺}) &= (4 \cdot 2 - 1 \cdot 1) + (9 \cdot 2^2 - 4 \cdot 2) + \\ &\quad \dots + \{(n+1)^2 2^n - n^2 \cdot 2^{n-1}\} \\ &= (n+1)^2 2^n - 1 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (\text{右辺}) &= \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} + 4 \sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} + \sum_{k=1}^n 2^k \\ &= \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} + 4\{(n-1)2^n + 1\} + \frac{2(2^n - 1)}{2-1} \\ &= \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} + (4n-2)2^n + 2 \end{aligned}$$

となるので、

$$\sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} + (4n-2)2^n + 2 = (n+1)^2 2^n - 1$$

$$\therefore \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} = (n^2 - 2n + 3)2^n - 3$$

である。

解 4 [和の形を予想して逆算]

$$\sum_{k=1}^n a_k = n^2 \cdot 2^n \quad (n \geq 1)$$

なる数列 $\{a_n\}$ をとる。 $n=1$ のとき $a_1=2$ であり、 $n \geq 2$ のとき、

$$\begin{aligned} a_n &= \sum_{k=1}^n a_k - \sum_{k=1}^{n-1} a_k \\ &= n^2 \cdot 2^n - (n-1)^2 2^{n-1} \\ &= n^2 \cdot 2^{n-1} + 2 \cdot n \cdot 2^{n-1} - 2^{n-1} \end{aligned}$$

である。これは $n=1$ でも成り立つ。ゆえに、

$$n^2 \cdot 2^{n-1} = a_n - 2 \cdot n \cdot 2^{n-1} + 2^{n-1}$$

となり、これを加えていくと、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} &= \sum_{k=1}^n a_k - 2 \sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} + \sum_{k=1}^n 2^{k-1} \\ &= n^2 \cdot 2^n - 2\{(n-1)2^n + 1\} + \frac{2^n - 1}{2-1} \\ &= (n^2 - 2n + 3)2^n - 3 \end{aligned}$$

が得られる。

解 5 [漸化式を利用した裏技]

$a_n = an^2 + bn + c$ なる数列 $\{a_n\}$ が^s、漸化式

$$a_{n+1} = \frac{1}{2}a_n + n^2 \quad (n \geq 1) \quad \dots \dots (*)$$

を満たすとする。

$$a(n+1)^2 + b(n+1) + c = \frac{1}{2}(an^2 + bn + c) + n^2$$

がすべての自然数 n で成り立つことは、

$$a(x+1)^2 + b(x+1) + c = \frac{1}{2}(ax^2 + bx + c) + x^2$$

がすべての実数 x で成り立つことと同値なので、後者で考える。これは、2次の恒等式なので、最高次の係数比較と $x=0, -1$ の代入で必要十分条件が得られ、

$$\begin{cases} a = \frac{1}{2}a + 1 \\ a + b + c = \frac{1}{2}c \\ c = \frac{1}{2}(a - b + c) + 1 \end{cases} \iff \begin{cases} a = 2 \\ b = -8 \\ c = 12 \end{cases}$$

$$\therefore a_n = 2n^2 - 8n + 12$$

である。ここで、数列 $\{b_n\}$ を

$$b_n = 2^{n-1}a_n = (2n^2 - 8n + 12)2^{n-1} \quad \dots \dots (\#)$$

で定義すると、(*)の両辺に 2^n をかけて、

$$2^n a_{n+1} = 2^{n-1}a_n + 2 \cdot n^2 \cdot 2^{n-1}$$

$$\therefore b_{n+1} = b_n + 2 \cdot n^2 \cdot 2^{n-1} \quad \dots \dots (*)'$$

となる。(＃)より、 $b_1=6$ であるから、

$$b_n = 6 + 2 \sum_{k=1}^{n-1} k^2 \cdot 2^{k-1}$$

$$\therefore \sum_{k=1}^{n-1} k^2 \cdot 2^{k-1} = \frac{b_n - 6}{2}$$

である。よって、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} &= \frac{b_{n+1} - 6}{2} \\ &= \frac{b_n + 2 \cdot n^2 \cdot 2^{n-1} - 6}{2} \quad (\because (*)) \\ &= (n^2 - 2n + 3)2^n - 3 \quad (\because (\#)) \end{aligned}$$

である。

* * *

ここまですが前回の復習である。ここで前回のテーマ：

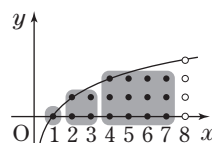
$$\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} = 1 \cdot 1 + 2 \cdot 2 + 3 \cdot 2^2 + \dots + n \cdot 2^{n-1}$$

を見つめ直そう。

実は、図のように考えて、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} &\text{は、領域} \\ D: 0 < x < 2^n, \\ 0 \leq y \leq \log_2 x \end{aligned}$$

n=3の場合



内の格子点の個数である (以下で一般的に考える)。

$1 \leq k \leq n$ なる k を固定する。

$2^{k-1} \leq l < 2^k$ なる l に対し、 D

を直線 $x=l$ で切ると、

$$k-1 \leq \log_2 l < k$$

より、切り口の線分上の格子点は

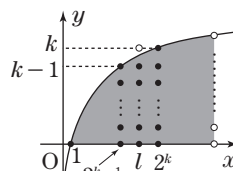
$$(k-1) - 0 + 1 = k \quad (\text{個})$$

ある。ゆえに、 $2^{k-1} \leq x < 2^k$ を満たす D 内の格子点は

$$k(2^k - 1) - 2^{k-1} + 1 = k \cdot 2^{k-1} \quad (\text{個})$$

ある。これを $1 \leq k \leq n$ で加えると、 D 内の格子点の総

数は $\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1}$ である。



集中講義～和と戯れる②～

次に、図のように“横一列”ごとに数えてみよう。

$0 \leq m < n$ なる m に対し、直線： $y = m$ で D を切った線分上の格子点は

$$(2^m, m), (2^m + 1, m), \dots, (2^n - 1, m)$$

であり、その個数は

$$(2^n - 1) - 2^m + 1 = 2^n - 2^m \quad (\text{個})$$

である。ゆえに、 D 内の格子点数は、

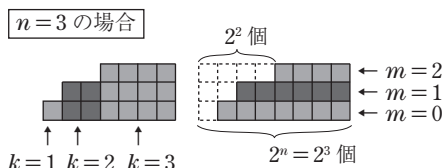
$$\sum_{m=0}^{n-1} (2^n - 2^m) = n \cdot 2^n - \frac{2^n - 1}{2 - 1} = (n - 1)2^n + 1$$

と計算できる。よって、

$$\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1} = (n - 1)2^n + 1$$

である（これが最もエレガントかも知れない）。

格子点の個数で考える方法が思いつきにくい場合は、次図のように、 $k \cdot 2^{k-1}$ を“縦 k 、横 2^{k-1} の長形状に積んだブロックの個数”と考える：

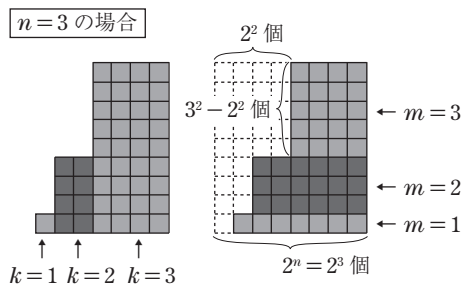


左のように、“同じ高さまで積まれた部分”ごとにまとめて数えたものが $\sum_{k=1}^n k \cdot 2^{k-1}$ であり、右のように、“横一列”ごとに数えたものが $\sum_{m=0}^{n-1} (2^n - 2^m)$ である。

では、この方法で例題 1 を考えてみよう。

解 6 [ブロック化の利用]

次図のように、 $k^2 \cdot 2^{k-1}$ を“縦 k^2 、横 2^{k-1} の長形状に積んだブロックの個数”と考える：



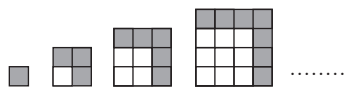
左のように、“同じ高さまで積まれた部分”ごとにまとめて数えたものが $\sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1}$ である。また、右のように“同じ横幅の部分”ごとにまとめて数えると、

$$\begin{aligned} & \sum_{m=1}^n \{m^2 - (m-1)^2\} (2^n - 2^{m-1}) \\ &= 2^n \sum_{m=1}^n (2m-1) - 2 \sum_{m=1}^n m \cdot 2^{m-1} + \sum_{m=1}^n 2^{m-1} \\ &= \frac{n^2 \cdot 2^n}{2} - 2 \{ (n-1)2^n + 1 \} + \frac{2^n - 1}{2 - 1} \\ &= (n^2 - 2n + 3)2^n - 3 \end{aligned}$$

である。よって、

$$\sum_{k=1}^n k^2 \cdot 2^{k-1} = (n^2 - 2n + 3)2^n - 3$$

である。下線部で、「正の奇数を 1 から順に n 個加えたら n^2 になる」を用いた。これは、“等差数列の和”であるが、



とブロックで考えることもできる。

(すべての解答終わり)

ここまでをまとめると、『和を求める』といえば…

- 0) 公式などの定石を利用
- 1) 「差に分けて打ち消す」の応用
 - 関係式を作る
 - 和の形を予想して、逆算する
- 2) 違う計算の結果に帰着
 - 漸化式を利用する
 - ブロックにして可視化する
- 3) 恒等式を微分、積分

* * *

最後に、“和の和（2重和）”を使って、上を実践してみよう。そのために、計算例を 1 つ挙げておく。

例 $S = \sum_{k=1}^n \left\{ \sum_{m=1}^k (m+k) \right\}$ を求めるには、まず、内側の Σ を計算する。その際に、変数は m であり、 k は定数として扱うことに注意する。

$$\sum_{m=1}^k (m+k) = \frac{k(k+1)}{2} + k^2 = \frac{3}{2}k^2 + \frac{1}{2}k$$

より、求める和は、

$$\begin{aligned}
 S &= \sum_{k=1}^n \left(\frac{3}{2}k^2 + \frac{1}{2}k \right) \\
 &= \frac{3}{2} \cdot \frac{n(n+1)(2n+1)}{6} + \frac{1}{2} \cdot \frac{n(n+1)}{2} \\
 &= \frac{n(n+1)^2}{2}
 \end{aligned}$$

である。

* * *

2重和の問題を1つ。どうやって計算可能にするか？

例題 2. 分母、分子が自然数の分数を次の規則に従って並べる：

- ① 分母と分子の和によって群に分ける。
- ② 各群では分母が大きいものから並べる。

[第1群] $a_1 = \frac{1}{1}$

[第2群] $a_2 = \frac{1}{2}, a_3 = \frac{2}{1}$

[第3群] $a_4 = \frac{1}{3}, a_5 = \frac{2}{2}, a_6 = \frac{3}{1}$

.....

第 n 群に含まれる分数全体の和を b_n とおき、

$S_n = \sum_{k=1}^n b_k$ とおく。さらに、 $T_n = \sum_{k=1}^n \frac{1}{k}$ とおく。

- (1) S_n を n と T_n の式で表せ。
- (2) b_n を n と T_n の式で表せ。

(2) で b_n を考えさせられるので、(1) が「 b_k を求めてから S_n を求める」という流れではないことが分かる。

解 (1) まず、 b_k をバラバラにすると、

$$b_k = \frac{1}{k} + \frac{2}{k-1} + \dots + \frac{k}{1}$$

となるので、 S_n を全てバラバラにすると、

$$\begin{aligned}
 S_n &= \frac{1}{1} + \left(\frac{1}{2} + \frac{2}{1} \right) + \left(\frac{1}{3} + \frac{2}{2} + \frac{3}{1} \right) + \dots \\
 &\quad \dots + \left(\frac{1}{n} + \frac{2}{n-1} + \dots + \frac{n}{1} \right)
 \end{aligned}$$

となる。分母が同じ分数ごとにまとめなおすと、

$$\begin{aligned}
 S_n &= \frac{1+2+\dots+n}{1} + \frac{1+2+\dots+(n-1)}{2} \\
 &\quad + \dots + \frac{1+2}{n-1} + \frac{1}{n} \\
 &= \frac{n(n+1)}{2} + \frac{1}{2} \cdot \frac{(n-1)n}{2} \\
 &\quad + \dots + \frac{1}{n-1} \cdot \frac{2 \cdot 3}{2} + \frac{1}{n} \cdot \frac{1 \cdot 2}{2} \\
 &= \sum_{i=1}^n \frac{1}{i} \cdot \frac{(n+1-i)(n+2-i)}{2}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 &= \frac{1}{2} \sum_{i=1}^n \left\{ \frac{(n+1)(n+2)}{i} + i - (2n+3) \right\} \\
 &= \frac{1}{2} \left\{ (n+1)(n+2)T_n + \frac{n(n+1)}{2} - n(2n+3) \right\} \\
 &= \frac{2(n+1)(n+2)T_n - 3n^2 - 5n}{4}
 \end{aligned}$$

となる。

(2) $n=1$ のとき、 $b_1=1$ である。 $n \geq 2$ のとき、

$$\begin{aligned}
 b_n &= S_n - S_{n-1} \\
 &= \frac{2(n+1)(n+2)T_n - 3n^2 - 5n}{4} \\
 &\quad - \frac{2n(n+1)T_{n-1} - 3(n-1)^2 - 5(n-1)}{4} \\
 &= \frac{(n+1)}{2} \left\{ (n+2)T_n - nT_{n-1} \right\} - \frac{3n+1}{2} \\
 &= \frac{(n+1)}{2} \left\{ n(T_n - T_{n-1}) + 2T_n \right\} - \frac{3n+1}{2}
 \end{aligned}$$

となる。ここで、 $n \geq 2$ において、

$$T_n - T_{n-1} = \sum_{k=1}^n \frac{1}{k} - \sum_{k=1}^{n-1} \frac{1}{k} = \frac{1}{n}$$

であるから、

$$\begin{aligned}
 b_n &= \frac{(n+1)}{2} \left(n \cdot \frac{1}{n} + 2T_n \right) - \frac{3n+1}{2} \\
 &= (n+1)T_n + \frac{n+1}{2} - \frac{3n+1}{2} \\
 &= (n+1)T_n - n
 \end{aligned}$$

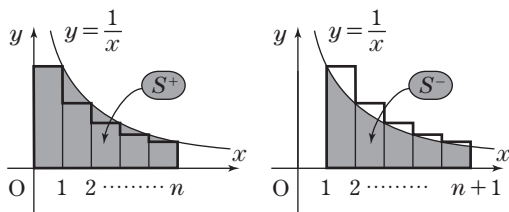
である。 $T_1=1$ より、これは $n=1$ でも成り立つので、

$$b_n = (n+1)T_n - n$$

である。

* * *

T_n を求めることはできない。数Ⅲでは、 T_n が以下の太線で囲まれた部分の面積であることを利用して、



$$\begin{aligned}
 T_n &\leq S^+ = 1 + \int_1^n \frac{dx}{x} = 1 + [\log x]_1^n \\
 &= \log n + 1, \\
 T_n &> S^- = \int_1^{n+1} \frac{dx}{x} = [\log x]_1^{n+1} \\
 &= \log(n+1)
 \end{aligned}$$

と評価する (上の不等式は $n=1$ で等号が成立する)。

(よしだ のぶお, 予備校講師)